

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 静岡県産業振興財団

目 次

概 要	1
事業一覧	2
公 1 産業創出支援	3
1 創業環境向上支援事業	3
2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業	4
3 地域創生起業支援事業	6
4 新成長産業戦略的育成事業	6
5 医療機器産業基盤強化推進事業	10
公 2 経営基盤強化	11
1 中小企業支援センター事業	11
2 下請振興等事業	12
3 企業参加型オンラインコミュニティ運用事業	14
4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	14
5 中小企業 I o T 活用促進事業	15
6 産業成長戦略推進事業	16
7 経営革新計画支援事業	17
8 中小企業脱炭素化推進事業	17
9 高度化資金貸付診断等事業	19
10 事業承継支援事業	19
11 設備貸与事業	19
12 中小企業振興貸与事業	20
13 設備資金貸付事業	20
公 3 科学技術研究開発支援	21
1 産学官技術交流促進事業	21
2 地域ビジネス応援事業	22
3 成長型中小企業等研究開発支援事業	23
公 4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	24
1 食品産業振興事業	24
2 食品産業人材育成事業	26
3 化粧品産業振興事業	27
4 ヘルスケア産業振興事業	28

令和5年度事業を次のとおり報告する。

令和5年度 事業報告

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

<概要>

令和5年度の県内経済を概観すると、コロナ禍からの正常化により景気は緩やかに回復しているものの、深刻な人手不足、原材料・燃料価格の高騰などの影響もあり、依然として厳しい経営環境が続いている。こうした中、県内企業が競合他社との差別化を図り、高付加価値事業を創出できるよう、産業財団は静岡県と連携して、人材育成、研究開発支援、設備投資促進、販路開拓の各事業を展開し、中小企業の取組を後押しした。

このうち主要事業について言及すると、成長産業分野では大規模展示会への出展やビジネスマッチングを通じて大手企業との取引案件が着実に生まれている。この成果のさらなる拡大には、各成長分野での本県の勝ち筋を描くロードマップが必要と考えている。なお、高いパフォーマンスが出でていない研究開発助成では、令和6年度からコーディネーターの関与強化を軸とする制度運用の見直しを図った。

下請企業振興では、新規発注先企業の開拓につながる広域商談会の開催に注力し、東海4県合同、山梨県、神奈川県とそれぞれ商談会を開催した。引き続き、金融機関との連携を強化し、これら商談会の定着を図る。

新規事業では、令和4年度に立ち上げた企業脱炭素化支援センターとして、不足する現場の活動を支援できる専門家の育成に着手し、今後、本格化する脱炭素化の動きに対応すべく手を打った。

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクトでは、ヘルスケア産業の育成を強化すべく、同ビジネスに関心のある企業の参入を促す活動基盤の構築に努めた。

以上、令和5年度は不透明な経済情勢に的確に対応しつつ、中核となる主要事業の深化と新規事業の成長を図りながら、ほぼ計画どおりに事業を実施し、一定の成果を上げることができた。

<決算総括>

令和5年度の経常収益は、公益目的事業及び法人会計合わせて1,165,586千円となり、前年度の1,150,144千円に対して15,442千円の増加となった。

経常費用は、1,184,384千円で前年度の1,151,447千円に対して32,937千円の増加となった。

令和5年度の収益・費用の増減要因としては、収益では、成長型中小企業等研究開発支援事業(Go-Tech事業)の事業管理が2年目を迎え、補助金が増加したこと等により前年度に比較して増加となった。費用においては、同Go-Tech事業に伴う経費支出、ベースアップを含めた人件費の増加、財団情報システムの更新などにより経常費用が増加した。

これらのことから、当期経常増減額は、マイナス18,798千円と、前年度に比べて17,496千円のマイナスとなった。

当期経常外増減額は、1,423千円と、前年度に比べて793千円増加した。

このため、当期経常増減額と当期経常外増減額を合わせた当期一般正味財産増減額は、マイナス17,375千円と、前年度のマイナス673千円に比べて16,702千円のマイナスとなった。

令和5年度事業一覧（決算額）

I 公益事業		1,167,904	単位：千円
	1 創業環境向上支援事業	12,086	
	2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業	12,991	
	3 地域創生起業支援事業	76,067	
公1 産業創出支援	4 新成長産業戦略的育成事業	328,227	
	5 医療機器産業基盤強化推進事業	147,583	
	共通	7,505	
	1 中小企業支援センター事業	94,067	
	2 下請振興等事業	66,010	
	3 企業参加型オンラインコミュニティ運用事業	6,031	
	4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業	11,939	
公2 経営基盤強化	5 中小企業IoT活用促進事業	12,390	
	6 産業成長戦略推進事業	6,254	
	7 経営革新計画支援事業	21,836	
	8 中小企業脱炭素化推進事業	37,071	
	9 高度化資金貸付診断等事業	18,064	
	10 事業承継支援事業	139	
	11 設備貸与事業	16,078	
	12 中小企業振興貸与事業	0	
	13 設備資金貸付事業	1,177	
	共通	16,026	
公3 科学技術研究開発支援	1 産学官技術交流促進事業	28,685	
	2 地域ビジネス応援事業	12,742	
	3 成長型中小企業等研究開発支援事業	43,122	
	共通	3,137	
公4 フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト	1 食品産業振興事業	75,021	
	2 食品産業人材育成事業	2,367	
	3 化粧品産業振興事業	21,336	
	4 ヘルスケア産業振興事業	52,760	
	共通	8,060	
	公益目的共通	29,133	

*各事業に配賦することが困難な費用は、公益目的事業に関する会計の中で「共通」の会計区分を設けて管理。

I 公益目的事業

※()内は、前年度正味財産増減計算書額
事業費 1,167,904千円 (1,132,698千円)

公1 産業創出支援

事業費 584,459千円 (589,630千円)

- 創業支援、ベンチャー創出
- 新分野の開拓支援（成長分野への県内企業の参入支援）

創業者や新事業に挑戦する事業者が直面する経営課題への相談対応、ベンチャー創出や新分野開拓支援など、新たな産業創出を支援する事業を行った。

1 創業環境向上支援事業

事業費 12,086,348円

創業を目指す者への相談対応や創業者の事業立上げ後の経営サポートを行った。また、支援ノウハウなどの少ない市町等が行う創業支援事業をバックアップするなど、県内での創業環境の向上に努めた。

(1) 創業者向け講習会、創業スキルアップサロン

成長志向を持つ創業者を対象に、事業計画作成や磨き上げのための講習会を開催した。これと併せて、創業者が抱える経営課題や事業計画等に対してメンター（先輩起業家）が助言を行った。

- ・開催回数 4回 (参加者の評価 平均満足度 4.6 (5点満点))

開催日	講習会	メンターサロン
R5.11.7	テーマ 時代背景とヒット商品の関連性 ・講師 (株)サイバー・アシスト 代表取締役 吉村正裕氏 ・参加者 3人	メンター ・同左 吉村正裕氏 ・ハルソラ(同)代表社員 地口伊智子氏 ・参加者 2人
R5.11.17	テーマ 商品・サービス作り ・講師 イワサキ経営グループ駿河増 販情報センター マーケティン グアドバイザー 宮口巧氏 ・参加者 6人	メンター ・同左 宮口巧氏 ・(株)はなか 代表取締役 宮武弓佳氏 ・参加者 6人
R5.12.4	テーマ 戦略立案と商品・サービスの ブランディング ・講師 同上 宮口巧氏 ・参加者 6人	メンター ・同上 宮口巧氏 ・(株)D-Zone 代表取締役 土橋武司氏 ・参加者 6人
R5.12.20	テーマ 起業時におけるデジタル技術 のビジネスへの活用 ・講師 (株)エッグシステム 代表取締役 高橋翼氏 ・参加者 6人	メンター ・同左 高橋翼氏 ・(株)アスタワン代表取締役 久米幹夫氏 ・参加者 6人

(2) 創業支援機関ネットワーク会議

創業支援機関相互の連携強化を目的に「創業支援機関ネットワーク会議」を開催した。

- ・開催回数 1回 (R6.3.19 オンライン開催)
- ・参加者 65機関、74人
- ・内容 国や県の創業関連施策の説明、事例報告 (支援機関、創業者)

(3) 創業支援担当者研修

各市町、商工団体、金融機関等の創業支援担当者を対象に、創業相談関連の知識習得を目的とした研修会を開催した。

- ・開催回数 4回 (参加者評価 平均満足度 4.4点 (5点満点))

開催日	テーマ	講師	参加者
R5. 10. 30	創業支援担当者に必要な事 知識編	中小企業診断士 竹島寿夫 氏	27人
R5. 11. 16	創業支援担当者に必要な事 技術編	中小企業診断士 竹島寿夫 氏	24人
R5. 12. 21	業種別基礎知識講座① 飲食・小売・卸売業など【地元向け事業】編	(株)サイバー・アシスト 代表取締役 吉村正裕 氏	17人
R6. 1. 18	業種別基礎知識講座② 観光・宿泊業など【来訪者向け】事業編	(株)サイバー・アシスト 代表取締役 吉村正裕 氏	14人

(4) 市町等への個別支援

各市町等が開催するセミナーや創業相談会の実施に関する助言のほか、市町が主催するセミナーに産業財団職員を講師や相談員として派遣するなど、各市町の取組を支援した。

支援内容	件数
情報提供・情報交換等	34件
具体的支援(講師派遣、個別相談対応等)	20件
市町等の創業支援事業に対する助言(講師紹介等)	3件
会議等	3件
計	60件

(5) 創業施策情報提供

創業関連支援策に関する情報をホームページやメールマガジンで配信した。

- ・実施回数 メールマガジン配信 2回/月

2 静岡発ベンチャー発掘・育成事業

事業費 12,991,167円

県内理系大学の高度技術や研究シーズを発掘して県内企業とのマッチングにつなげるなどして、次代の県内産業を牽引する大学発ベンチャーの創出に取組んだ。

(1) 静岡県内大学発ベンチャー支援協議会の運営

大学発ベンチャーを創出するため、県と産業財団及び県内7大学関係者で構成する支援協議会を運営し、ベンチャー支援活動に関する大学間での情報共有を図った。

(2) コーディネーターによるマッチング支援、ラウンドテーブルの開催

コーディネーターを2人配置し、大学研究者と県内企業をつなぐマッチングを行った。具体的には、県内企業を訪問して潜在ニーズを掘り起こし、それに相応しい大学研究者への橋渡しや、大学の研究シーズを分かりやすく翻訳して県内企業に情報として提供した。

また、コーディネーターの働き掛けで、大学の研究者と県内企業が一同に会する「ラウンドテーブル」を開催し、研究者のシーズ検証や意見交換を通じて両者のマッチングを行った。加えて、これを両者の学術指導や共同研究開発につなげる仕掛けとして、共同研究等促進支援助成金で支援した。

○ラウンドテーブル 開催回数 6回

開催日	内 容	参加者
R5. 8.30	テーマ 再生可能エネルギーだけで構成されるマイクログリッドの構築と運用 講師 静岡大学工学部電気電子工学科 松尾廣伸准教授	14社 18人
R5. 9.25	テーマ 未利用植物資源に含まれる機能性成分 講師 静岡県立大学食品栄養科学部食品生命科学科 熊澤茂則教授	19社 23人
R5. 12. 7	テーマ 第1部 ものづくりを支える電気加工技術のおはなし 第2部 自動車部品の高強度化技術開発と破壊解析の基礎 講師 第1部 静岡理工科大学理工学部機械工学科 後藤昭弘教授 第2部 静岡理工科大学理工学部機械工学科 三林雅彦教授	12社 16人
R6. 1.22	テーマ デジタル技術を活用したものづくりの未来 講師 沼津工業高等専門学校制御情報工学科 藤尾三紀夫教授	15社 16人
R6. 2.19	テーマ 表面改質を用いた多機能金属材料の創製 講師 静岡大学工学部機械工学科 菊池将一准教授	14社 19人
R6. 2.22	テーマ 静岡大学農学部用宗水園フィールドにおける取り組み —陸上養殖からカーボンクレジットまで— 講師 静岡大学農学部応用生命科学科 笹浪知宏教授	20社 29人

○共同研究等促進支援助成

- ・共同研究契約 2件（助成額 727千円）

(3)ベンチャーの発掘、育成支援

民間アクセラレーター（㈱リバネス）が行う、大学の研究者やベンチャーを発掘・育成する創業応援プログラムをバックアップするため、同プログラムで構築するエコシステムに地域パートナーとして参画した。

○静岡テックプランター事業 静岡テックグランプリの開催 (R5.7.22)

発表者 9チーム（ファイナリスト）

- ・最優秀賞 Diamond Sensors（静岡大学）
テーマ 半導体ダイヤモンドの合成と電子デバイスへの応用
- ・静岡県内大学発ベンチャー支援協議会賞 Well-being Copilot（静岡大学）
テーマ ケアDXによるWell-being 最大化

■ 静岡発ベンチャー発掘・育成事業（実績）

- ・マッチング 19件 成立 12件

（共同研究契約4件、学術指導契約6件、その他2件）

- ・ベンチャー設立支援 5件 会社設立 2件

3 地域創生起業支援事業

事業費 76,066,978円

地域の社会的課題をビジネスの手法で解決する起業を促すため、創業に係る事業費の一部を補助し、専門家による伴走支援を行った。

(1)起業支援金

○対象事業 地域課題の解決に資する社会的事業等

○対象分野 子育て支援、保健・医療・福祉、防災・減災、まちづくり等

(単位：千円)

申請		交付決定		助成実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
94	158,986	39	71,892	37	60,366

(2)伴走支援

創業者に中小企業診断士を派遣し、経営に関する相談対応を行った。

・実施回数 延べ 75 回

(3)セミナー開催

①申請者を対象に、創業計画の作成や事業計画の熟度を高めるためのセミナーを開催した。

・講 師 中小企業診断士 竹島寿夫 氏

・参加者 41 人 (アーカイブ配信視聴数 278 回)

②過年度採択の起業者も対象に含め、起業者の事業拡大・安定経営の実現とネットワークの構築を目的としたステップアップセミナーを開催した。

・講 師 税理士 白鳥久美子 氏

・参加者 42 人

■ 過年度の採択者の状況（令和 4 年度の経営実績）

・令和元年度 24 事業者

売上計 約 4 億 9,511 万円、年度末従業員数 46 人

・令和 2 年度 36 事業者

売上計 約 4 億 6,796 万円、年度末従業員数 143 人

・令和 3 年度 37 事業者

売上計 約 3 億 2,036 万円、年度末従業員数 89 人

4 新成長産業戦略的育成事業

事業費 328,227,155円

県が定める新たな成長分野（次世代自動車、医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光、新エネルギー、環境技術関連、C N F）への中小企業の参入を促すため、同分野に関する情報提供や啓発、技術支援、研究開発・試作品支援、事業化・販路開拓支援等に関する事業を行った。

(1)成長産業分野への参入促進（成長産業販路開拓事業）

分野	事業区分	事業内容
次世代自動車	展示会出展	○学生フォーミュラ日本大会2023に静岡県ブースを出展 ・R5. 9. 1~2、エコパスタジアム ・共同出展 6 社 (他に名産品コーナー 4 団体)
	参入促進	○医工連携スタートアップ支援事業 ・医工連携関連アイデアの実現性を検証 ・採択 5 社 ・はままつ医工連携拠点に委託
医療・福祉機器	展示会出展	○医工連携出会いのサロン ・第45回日本手術医学会総会併設の展示会に出展 ・R5. 11. 24~25、パシフィコ横浜 ・共同出展 5 社 1 団体 ・はままつ医工連携拠点に委託

分野	事業区分	事業内容
		<ul style="list-style-type: none"> ○Medtec JAPAN 2023への共同出展 <ul style="list-style-type: none"> ・R5. 4. 19~21、東京ビッグサイト ・共同出展 10社・2団体
ロボット	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ○先進ものづくり人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・小中高生を対象としたロボットプログラミング教室の開催等 ・R5. 4. 15~R6. 3. 16 (全36回)、開催場所 沼津市、磐田市 ・参加者 延べ395人 (沼津258人、磐田137人) ・ロボカップ事務局に委託
	セミナー 工場見学	<ul style="list-style-type: none"> ○ロボット産業参入セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・R5. 12. 21 葵タワー、参加者 71人 ・講演 山形大学多田限理一郎氏、HIWIN(株)、THK(株) ○工場見学 <ul style="list-style-type: none"> ・R6. 1. 19 (株)日本設計工業、リンクウイズ(株)
	ビジネス マッチング	<ul style="list-style-type: none"> ○(株)デンソーウェーブ <ul style="list-style-type: none"> ・同社によるニーズ説明会 (R5. 7. 26)、参加者 65人 提案 11社 (14提案)、うち採択 11社 (14提案) ・ミニ展示会 (R5. 11. 7、デンソーウェーブ本社内) 参加企業 11社、デンソーウェーブ関係者 84人 ○三菱電機(株)名古屋製作所 <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ展示会 (R5. 12. 27、三菱電機(株)名古屋製作所内) 参加企業 16社、三菱電機関係者 83人
航空宇宙	展示会出展	<ul style="list-style-type: none"> ○エアロマート名古屋 2023 <ul style="list-style-type: none"> ・R5. 9. 26~28、名古屋市中小企業振興会館 ・共同出展 4社 ・浜松商工会議所に委託 ○フライングカーテクノロジー展 <ul style="list-style-type: none"> ・R5. 9. 13~15、東京ビッグサイト ・共同出展 3社 ・浜松商工会議所に委託

(2) EV・自動運転化等技術革新対応促進事業

事業名	事業内容
コーディネーター配置	<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーター 2人配置 <ul style="list-style-type: none"> ・県内企業訪問 231件 (うち新規 50件)
展示会出展	<ul style="list-style-type: none"> ○人とくるまのテクノロジー展 2023 出展 <ul style="list-style-type: none"> ・R5. 5. 24~26、パシフィコ横浜 ・共同出展 6社
マッチング	<ul style="list-style-type: none"> ○MaaSビジネスマッチング交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 R5. 11. 21、沼津リバーサイドホテル ・基調講演 産業技術総合研究所デジタルアーキテクチャ研究センター 加藤晋氏 前静岡大学客員教授・(株)ベンチャーラボ東海支社 中村穰治氏 ・ピッチ登壇、展示交流会出展団体 <ul style="list-style-type: none"> (株)アイシン、(株)エムスクエア・ラボ、沼津高専、LtG Startup Studio、東急(株)、静岡県、沼津市、三島市 ・参加者 108人(うち、オンライン視聴 38人)
データベース運営	<ul style="list-style-type: none"> ○中小メーカーの技術情報とりまとめ、大手サプライヤー向け発信 <ul style="list-style-type: none"> ・冊子やホームページに掲載した企業情報の更新 ・掲載企業 67社、発行部数 300部

(3) 静岡型航空産業育成事業

航空機産業への新規参入促進、受注活動の拡大や技術の高度化を図るとともに、MRO（整備・修理・オーバーホール）関連産業の育成を図った。

事業名	事業内容																											
中核人材育成	<p>○航空宇宙産業の中核を担う人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座学 R5.8~11月（7回）、工場見学 R6.1.25、実習 R6.1.30・31 ・見学 天龍エアロコンポーネント㈱、川崎重工業㈱ 岐阜工場 ・実習 ポリテクカレッジ浜松 ・受講者数 5社7人 ・浜松商工会議所に委託 																											
航空機産業認証取得助成	<p>○国際規格等の認証取得への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/2（限度額 JISQ 9100(3,000千円)、Nadcap (5,000千円) ・期間 原則 2か年計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>企業指定件数</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr> <td>認証取得件数</td><td>3</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	企業指定件数	2	2	2	1	2	2	1	2	認証取得件数	3	2	0	2	1	2	2	1
区分	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																				
企業指定件数	2	2	2	1	2	2	1	2																				
認証取得件数	3	2	0	2	1	2	2	1																				
設備投資・高度人材育成事業費補助	<p>○設備投資への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/2（限度額 15,000千円）、期間 1年以内 ・助成件数 5件 ・合計助成額 39,664千円 <p>○高度人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率 1/2（限度額 1,000千円）、期間 1年以内 ・助成件数 2件 ・合計助成額 1,000千円 																											
専門家によるマッチング	○専門家（重工OB等）による重工メーカーと県内企業のマッチング支援 ・訪問件数 114件、見積件数 837件																											

■ 展示会出展企業の商談状況（半年後の実績）

展示会名	出展社数	商談中(見積・図面等依頼)	商談協議後日訪問	成約件数(試作含む)	当初契約額(単位:千円)
Medtec Japan2023	10社	12	14	2	7,700
エアロマート名古屋 2023	4社	9	5	1	(機密保持)
人とくるまのテクノロジー展 2023	6社	8	26	9	12,029

<参考> 令和4年度に出展した展示会（1年後の実績）

Medtec Japan2022	10社	2	0	22	179,507
2022 航空・宇宙機器開発展	13社	24	0	2	3,800
人とくるまのテクノロジー展 2022	6社	2	4	6	23,030

(4) リーディング産業育成事業（助成事業）

新たな成長産業分野等への参入を目指す中小企業等が実施する研究開発、試作品支援、事業化・販路開拓等に対して助成した。

○研究開発に対する助成

事業名	事業内容
研究開発助成 (产学官連携型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的に大学や県内公設試験研究機関と連携して行う研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 10,000千円(2年間で計20,000千円)) ・申請件数 14件、うち助成件数 10件、助成額 73,867千円
研究開発助成 (一般型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を行なう研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 5,000千円) ・申請件数 17件、うち助成件数 13件、助成額 49,714千円
研究開発助成 (プロジェクト間連携型)	○幅広く産業応用の可能性のある技術・新製品等の実用化を目的にプロジェクト間で連携して行なう研究開発に対して助成した。 ・補助率 2/3 (限度額 15,000千円(2年間で計30,000千円)) ・申請件数 3件、うち助成件数 3件、助成額 21,722千円

○事業化に対する助成

事業名	事業内容
事業化推進助成 (一般型)	○成長分野に関する研究成果を事業化につなげるための更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 15,000千円(2年間で計22,500千円)) ・申請件数 8件、うち助成件数 6件、助成額 27,335千円
事業化推進助成 (プロジェクト間連携型)	○研究成果を事業化につなげるため、プロジェクト間連携で更なる研究開発を行う事業者を募集した。 ・補助率 1/2 (限度額 20,000千円(2年間で計30,000千円)) ・申請件数 0件
先端企業育成プロジェクト事業化推進助成	○先端企業育成プロジェクト推進事業（県補助金）採択企業を対象に、事業化に向けた更なる研究開発に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 15,000千円(2年間で計22,500千円)) ・助成件数 2件、助成額 23,390千円
試作品開発助成 (次世代自動車・CNF)	○EV化の潮流に対応して自社の技術力を広く情報発信するための試作品製作に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 3,000千円)、期間 1年以内 ・申請件数 7件、うち助成件数 5件、助成額 11,541千円 ○CNFを活用した試作品の製作を行う事業に対して助成した。 ・補助率 1/2 (限度額 3,000千円)、期間 1年以内 ・申請件数 3件、うち助成件数 2件、助成額 1,387千円

■ 補助金交付事業の進捗状況（令和4年度の状況）

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止・中断	上市	その他
研究開発助成	R1	16	8	4	1	3
	R2	8	4	1	1	2
	R3	7	3	2	0	2
事業化助成	R1	5	2	1	1	1
	R2	7	3	1	0	3
	R3	8	4	0	3	1

5 医療機器産業基盤強化推進事業

事業費 147,582,946円

医療機器産業等の基盤強化に必要な初期投資とその後の事業化に向けた取組までを一貫支援し、県内中小企業の医療健康産業など「命を守る産業」への参入を後押しした。

事業名	事業内容
医療機器産業基盤 強化推進事業	<ul style="list-style-type: none">○医療健康産業参入に向けた初期投資と事業化までの一連の取組に対して助成した。<ul style="list-style-type: none">・申請件数 21件、うち助成件数 17件、助成額 135,919千円○内訳<ul style="list-style-type: none">初期投資助成（1年目）<ul style="list-style-type: none">・補助率 2/3（限度額 20,000千円）・助成件数 5件研究開発・事業化助成（2、3年目）<ul style="list-style-type: none">・補助率 2/3（限度額 10,000千円）・助成件数 12件

■ 補助金交付事業の進捗状況（令和4年度の状況）

区分	補助年度	補助件数	研究継続	中止・中断	上市	その他
医療機器等助成	R2(初期)	17	8	1	6	2
	R3(初期)	12	10	1	1	0
	R3(事業化)	4	4	0	0	0

公2 経営基盤強化

事業費 307,082千円 (309,528千円)

- 経営支援（中小企業支援センター運営、下請振興、中小企業の生産性向上等）
- 中小企業脱炭素化推進
- 経営等診断（地域経済牽引事業計画や経営革新計画の作成支援、高度化資金貸付診断）
- 設備導入支援（設備貸与、振興貸与、設備資金貸付事業の債権管理）

中小企業が抱える課題解決に向けた相談や専門家の派遣、経営革新等の取組に対する支援、下請中小企業への受注機会の提供や取引条件の改善支援を行った。

1 中小企業支援センター事業

事業費 94,066,657円

中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして、中小企業の経営課題や資金調達などの各種相談に対応した。

(1)他の支援機関との連携

情報交換や事業連携のため、県内支援機関等との連携会議を開催した。また、ブロック単位の支援機関が開催する会議への参加、県内支援機関が開催する連携会議に参加し情報収集等を行った。

- ・県内支援機関等との情報交換・事業連携等会議の開催 1回

R5.7.13 参加 35機関、45人出席

講演①「SHIPを拠点にしたDX推進と人材育成」SHIPコミュニケーションマネージャー 玉城陽子氏

講演②「深層学習の仕組みと応用～画像解析における事例」

静岡理工科大学総合技術研究所 客員教授 工藤司氏

(2)支援体制の整備

創業者や中小企業が抱える課題解決を支援する専門家の登録募集を行った。また、センターに事業担当職員を配置して、支援先企業の訪問、他支援機関と連携して新規支援先を発掘した。

- ・専門家の年度末登録者数 482人

(年度当初登録 462人、年度中新規登録 50人、年度中更新による減 30人)

(3)専門家の派遣

中小企業等が抱える課題を解決するため、派遣申請に基づいて登録専門家を派遣した。

また、ISOの認証取得を目指す企業に対し、長期（1企業10回予定）に専門家を派遣し、認証取得の支援を行った。

- ・補助率 派遣経費の2/3（1/3は企業負担）

区分	事業計画・ISO	労務管理	販路開拓	その他	合計
企業数（社）	198	45	95	66	404
派遣回数	946	188	430	292	1,856

(4)支援センター管理費事業（職員育成）

中小企業支援に係る研修への派遣を通じて職員の専門的知識・スキルを高め、相談体制の強化を図った。また、ISOを認証取得している又は認証取得しようとする中小企業や職員を対象に、ISO内部監査員を育成する講座を開催した。

- ・ISO講座開催 ISO 9001コース 22社、40人

■ 専門家を利用した企業の満足度調査 ※4、5点の割合/5点満点

態度、姿勢、話し方	96.4%
助言等の内容	97.6%
助言等の進め方	96.1%

＜課題についての解決状況＞

課題を解決できた	37.4%
課題を概ね解決できた。一部、残課題あり	59.3%
次年度も専門家派遣を利用する意向	61.1%

2 下請振興等事業

事業費 66,010,372 円

取引あっせんや商談会を開催して受注機会の拡大を図ったほか、発注先企業を対象とした講習会や窓口相談を通じて下請取引の適正化を図った。

(1) 下請振興事業

① 支援体制の整備

効率的に取引あっせんを進めるため、企業検索支援サイト「静岡県ものづくり企業ナビ」に掲載する企業数を充実させ、取引先開拓業務の円滑化を図った。このほか、全国・ブロック単位の会議に参加し、取引あっせんの広域化を図るための情報収集などを行った。

- ・「静岡県ものづくり企業ナビ」登録企業数 508 社

② 窓口相談

下請取引に係る苦情相談対応を行ったほか、下請取引に係る法律相談日を設け、顧問弁護士による助言を行った。

- ・下請かけこみ寺相談員による相談件数

下請法関係		下請法以外	
受領拒否	0 件	債権回収	56 件
支払遅延	0 件	契約・取引	57 件
代金減額	2 件	損害賠償	10 件
返品	0 件	会社経営	0 件
買いたたき	15 件	その他	75 件
その他	33 件		
計	50 件	計	198 件

- ・顧問弁護士による無料法律相談日（原則、毎月第 2 月曜日 × 12 か月）

相談実績：「契約内容について」1 件

③ 取引あっせん

県内外の大手・中堅企業 125 社を訪問し、108 件の新規発注案件を開拓した。また、251 件のあっせん紹介等により、74 件の成立を支援した。

		令和 4 年度	令和 5 年度
登録企業数	発注企業	760	758
	受注企業	3,022	3,056
発注申出件数		103	108
(うち専門調査員)		23	45
受注申出件数		29	57
あっせん紹介件数		232	251
あっせん紹介結果	成立	41	74
	不成立	243	231
	折衝中	466	388
契約成立当初受注金額		71,280 千円	57,710 千円
発注開拓企業件数		137	125
(うち専門調査員)		108	111

④ 広域商談会

○ 静岡・山梨 連携ものづくり商談会 ※半年後調査の実績

(単位：千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		成立件数	当初契約額
R5. 7. 4	グランシップ (静岡市)	86 社	165 社 (県内 109 社)	対面 319 件 WEB 151 件	継続 5 件 スポット 6 件	628 4,449

○マッチングフェア in なごや (東海4県合同) ※半年後調査の実績 (単位:千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		成立件数	当初契約額
R5. 10. 5	ウインクあいち (名古屋市)	143 社	377 社 (県内 74 社)	対面 707 件 WEB 158 件	継続 4 件	6, 370

<参考> 令和4年度開催分の実績 (1年後調査)

R4. 10. 6	ウインクあいち (名古屋市)	155 社	435 社 (県内 63 社)	対面 716 件 WEB 165 件	継続 6 件 スポット 2 件	14, 070 160
-----------	-------------------	-------	--------------------	-----------------------	--------------------	----------------

○しづおか・かながわ広域商談会

(単位:千円)

開催日	開催場所	参加企業		商談件数	県内企業	
		発注企業	受注企業		商談成立件数	当初契約額
R6. 2. 20	プラサヴェルデ (沼津市)	73 社	174 社 (県内 108 社)	対面 444 件 WEB 87 件	—	—

<参考> 令和4年度開催分の実績 (1年後調査)

R5. 2. 22	秦野商工会議所 (秦野市)	42 社	110 社 (県内 68 社)	対面 147 件 WEB 109 件	継続 3 件 スポット 7 件	668 2, 079
-----------	------------------	------	--------------------	-----------------------	--------------------	---------------

⑤技術提案型展示商談会 ※半年後調査の実績

開催日	相手先企業	参加企業	見積依頼	後日訪問	商談中
R5. 7. 26	(株)島津製作所 (京都市)	19 社	2 件	1 件	10 件

⑥首都圏展示会への共同出展 (機械要素技術展への出展)

大規模な集客が見込まれる首都圏の専門展示会に静岡県ブースとして共同出展した。(単位:千円)

出展回	調査時期	開催期日	出展者数	見積依頼件数	商談成立件数	当初契約額
第 28 回	半年後調査	R5. 6. 21~23	12 社	49 件	12 件	4, 400

<参考> 令和4年度出展分の実績

第 27 回	1 年後調査	R4. 6. 22~24	16 社	48 件	19 件	8, 714
--------	--------	--------------	------	------	------	--------

⑦下請取引適正化講習会開催

親事業者及び下請事業者を対象に、下請中小企業振興法及び下請代金支払遅延等防止法関連の講習会と物価高騰等による価格転嫁の交渉支援セミナーをオンライン併用で開催した。

開催日	講師	参加者
R5. 9. 7	関東経済産業局、公正取引委員会中部事務所	151 社 230 人 (会場 23 人)
R6. 3. 15	関東経済産業局、公正取引委員会中部事務所	84 社 97 人 (会場 12 人)

(2) 情報支援事業

各種施策に関するHPやメールマガジンの発行、相談窓口での経営資料の提供・閲覧、視聴覚教材(DVD)の貸出等を行った。

・ホームページへのアクセス数 74, 817 回、DVD の貸出 8 件 33 本

・メールマガジンの発行 24 回 (月 2 回)、延べ 50, 891 人 (2, 120 人/回)

また、相談窓口に情報相談員を配置するとともに、情報資料の閲覧、視聴覚ビデオの貸出等を行った。また、毎週水曜日、静岡県中小企業診断士協会との連携に基づいて派遣された中小企業診断士を相談窓口に配置し、創業や経営相談に対応した。

(単位:件)

取引相談	経営全般	資金調達	マーケティング	法律・労務・税務	技術	ビジネスプラン	事業譲り・会社設立	省エネ ISO	特許	その他	合計
301	162	322	268	258	327	178	43	7	9	230	2, 105

3 企業参加型オンラインコミュニティ運用事業

事業費 6,030,687 円

新事業に取り組もうとする企業に対し、国や県などの支援情報を一元的に提供するとともに、双方による相談・交流が可能な企業参加型オンラインコミュニティを運営した。

・登録者累計数 1,031 人

・L P 支援情報データベース 掲載数 183 件、アクセス数 62,638 回

・コミュニティサイト アクセス数 123,183 回

4 静岡ものづくり生産性向上推進人材育成事業

事業費 11,939,449 円

製造現場での改善活動（品質向上、コスト低減、納期短縮等）を推進する企業内リーダーを養成する「静岡ものづくり生産性向上推進リーダー育成スクール」を開催した。

○スクールの概要

・期間 全18回 (R5.8.25～11.24)

・受講者数 17人（企業現役）(受講料 20万円/人)

○講義

・早稲田大学大学院教授/東京大学名誉教授 藤本隆宏氏の「生産マネジメント理論」を基礎に「良い設計の良い流れ」づくりを目指す、現場改善手法や現場管理手法等の理論を学習した。

・講師陣 國方、仲田、山本、小楠、柴田、飯田、高橋、雨川、野毛、須山

	日程	内容
1	R5. 8. 25	ものづくり基礎概念、良い流れを作る現場の見方
2	R5. 9. 1	VSM の基礎、VSM 作成演習
3	R5. 9. 8	生産性向上、良い流れを作る情報の流れ、7つのムダ・段取り改善、良い流れを作る在庫管理
4	R5. 9. 15	良い流れを作るレイアウト、良い流れを作る品質管理、良い流れを作る生産
5	R5. 9. 22	IE、作業分析・動作分析の具体的手法、IoT, ロボット導入ポイントと導入事例、IoT, AI の導入と取組事例の成果
6	R5. 9. 29	時間分析、IoT ハンズオン、日程管理、リーダー・リーダーシップ
7	R5. 10. 6	分析ツールの使い方、グループテクノロジー、5S5 定、業務に良い流れを作る
8	R5. 10. 13	現場実習事例、改善後の VSM、現場実習の進め方

○現場実習、成果発表

・現場実習 県西部の製造業 3 社

・内容 受講者を 3 グループに分け、中小製造業 3 社の現場で工程分析や作業分析を行うことで、現場改善手法を習得した。

・講師 高橋、飯田、山本、雨川

回数	日 程	内 容
9	R5. 10. 19	経営者との打合せ、現場の確認、全体計画、目標の策定
10	R5. 10. 20	
11	R5. 10. 26	
12	R5. 10. 27	現場実習
13	R5. 11. 2	現場担当者へのヒアリング、「モノと情報の流れ図」の作成、ビデオ動作解析、レイアウトの見直し、一部改善の実践 等
14	R5. 11. 9	
15	R5. 11. 10	
16	R5. 11. 16	
17	R5. 11. 17	チーム改善提案（実習先企業）
18	R5. 11. 24	チーム改善発表（FUSE イベントスペース）

○現場実習先で想定される改善成果

A社（自動車部品用樹脂成形）

- ・改善実施項目 在庫削減、資材配置変更による運搬距離短縮
- ・想定される改善効果 リードタイム 18日短縮、運搬距離 72%削減

B社（輸送用機器部品の鍛造、機械加工）

- ・改善実施項目 作業工数削減、仕掛け在庫削減
- ・想定される改善効果 1個流し生産により加工時間 50%削減、熱処理治具をカンバンとした前工程の「作りすぎのムダ」防止

C社（輸送用機器部品の機械加工）

- ・改善実施項目 サイクルタイム短縮、生産能力向上
- ・想定される改善効果 サイクルタイム 15%短縮、生産能力 26.4%向上、リードタイム 2.2 日短縮

○企業内ミニスクール

- ・実施企業 1社（内容は企業の要望に対応）
- ・製造現場・事務等各部門から社員15人が参加
- ・改善に対する考え方や基礎知識を一般従業員も学ぶことで、改善活動を社内に浸透させる目的
- ・動作経済の原則を身体使用、作業域、治具および機械の3テーマに分けて実施

5 中小企業 IoT 活用促進事業

事業費 12,389,564 円

(1) IoT 大学連携講座

産学官連携の組織「静岡県 IoT 導入推進コンソーシアム」を核に静岡大学や工業技術研究所と連携し、講座と IoT 実践演習を行った。

また、専門家のサポートの下、演習で利用した IoT 機器を自社の製造現場に導入した。

○ IoT 大学連携講座

区分	項目	内容
第1部	技術知識講座 (WEB 開催)	<p>○ IoT 環境構築のための技術知識講座 (R5. 5. 26 開催)</p> <ul style="list-style-type: none">・参加者 46 社・機関 69 人・テーマ① IoT とは? IoT システムアーキテクチャー、IoT に求められる機能・スキル 講師 静岡大学情報学部 峰野博史教授・テーマ② 収集データの監視と活用について 講師 静岡理工大学総合技術研究所 工藤司氏
第2部	現場実装講座	<p>○ 静岡会場 10 社 11 人 (県工業技術研究所)</p> <ul style="list-style-type: none">・実習 R5. 6. 27、現場実装 7/上旬～9/下旬、発表会 R5. 10. 3○ 浜松会場 10 社 1 研究所 13 人 (浜松工業技術支援センター)<ul style="list-style-type: none">・実習 R5. 9. 28、現場実装 10/上旬～1/中旬、発表会 R6. 1. 18○ 沼津会場 6 社 1 研究所 9 人 (沼津工業技術支援センター)<ul style="list-style-type: none">・実習 R5. 10. 24、現場実装 10/下旬～2/上旬、発表会 R6. 2. 13
	IoT サポート 専門家による 現場実装支援	<ul style="list-style-type: none">・株叢雲堂 池谷隆典 サポート企業 4 社・Re-CreSor Labo 北野幹夫 サポート企業 4 社・Japan IT produce 長谷川徹 サポート企業 2 社・名倉 IT 経営研究所 名倉真史 サポート企業 4 社・Ichikawa IT Produce 市川直哉 サポート企業 5 社・愛和システムソリューションズ 和栗正昭 サポート企業 3 社・RF アンテナ 原賀浩太郎 サポート企業 2 社・2 研究機関・工藤 司 サポート企業 4 社

(2) ふじのくに ICT 人材育成プロデューサー事業

ICT 人材育成に関する施策の立案・調査や、ICT に関する企業の技術力向上を図るため、ICT 人材の確保、育成を総合的に推進するプロデューサー 1 人を配置した。

- ・ICT 活用、DX 等の動向調査
- ・県が実施する DX 関連講座の企画・運営
- ・若手層向けの取組支援（ジュニアプロコンなど）
- ・イノベーション拠点 SHIP のコーディネート

6 産業成長戦略推進事業

事業費 6,254,072円

(1) 販売戦略構築支援

○販売戦略サポート委員会

新規開発した商品の販路などに課題を抱える企業経営者や事業責任者に対し、外部専門家 4~5 人が製品づくりや販路開拓に関する実践的な助言を行う委員会を開催した。

開催日	出席企業	所在地	製品等
R5. 6. 22	株丸又	焼津市	汁なしおでん
	株遠州	磐田市	ノンタッチシート
R5. 7. 27	有静岡木工	吉田町	モダン神棚
R5. 8. 30	株水野アルミ	島田市	電気を使わない自動ドア
R5. 11. 28	山本被服株	清水町	日本最古のオーバーオール
	芝原工業株	磐田市	レーザー溶接用電子ゴーグル
R6. 2. 27	大日工業株	静岡市	空気殺菌装置 「Z-Cure®」
	株小野田産業	静岡市	家庭用シェルター 「SAM」

○大手企業の技術ニーズとのマッチング支援

技術ニーズを有する大手企業と、課題解決に向けた技術シーズを有する県内企業とのマッチング支援事業を実施した。

大手企業	結果
東急株	・技術ニーズ説明会 (R5. 9. 28) ・県内企業 6 社が 9 件を提案。うち、1 社 1 件が個別面談を実施
テルモ株	・技術ニーズ説明会 (R5. 12. 12) ・県内企業 13 社が 29 件を提案。うち、2 社 2 件が個別面談を実施
東京電力 HD 株	・技術ニーズ説明会 (R6. 3. 8) ・県内企業 6 社が 9 件を提案。すべて個別面談を実施予定

(2) 地域経済牽引企業の創出・実行支援

○地域経済牽引企業の策定支援

地域の特性を活かして高い付加価値を創出し、地域に高い経済的波及効果を及ぼす「地域経済牽引事業」の計画を策定しようとする企業に対して中小企業診断士等を派遣し、計画の作成支援や地域未来投資促進法の支援策（地域未来投資促進税制等）の活用に関する助言を行った。

- ・専門家派遣先 3 社
- ・財団職員派遣先 6 社

○計画の実行支援

地域経済牽引事業計画の実行段階における課題を解決し、着実な計画実行をサポートするため専門家を派遣した。

- ・派遣先 2 社

7 経営革新計画支援事業

事業費 21,836,108 円

中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の承認申請等に関する相談・受付及び調査を行った。また、地域中小企業支援センターと連携して経営革新制度の普及・啓発や相談・助言を行った。そのほか、承認企業の実施状況調査分析を行い、計画実現に向けた助言や支援を行った。

- ・計画策定支援（変更を含む） 110 件
- ・補助金申請書類の作成支援 34 件

8 中小企業脱炭素化推進事業

事業費 37,071,482 円

県内企業の脱炭素化を推進するプラットフォームとして、産業財団内に「企業脱炭素化支援センター」を設置して、ワンストップ相談対応、中小企業向け啓発活動、人材育成を行った。

（1）企業脱炭素化支援センターの運営

- 県内企業の脱炭素化を推進する県のプラットフォーム「企業脱炭素化支援センター」を運営した。同センターには業務アドバイザーを配置して企業からの相談対応を行った。
 - ・業務アドバイザー（中小企業診断士2人、技術士1人） 3人配置
 - ・相談件数 570 件（うち 52 件は、他団体主催の相談会等に出展する出前型での実績）
 - ・R5.11.8 協立グループ展 2023 in 静岡 22 件
 - ・R5.11.10/11 産業振興フェア in 磐田 30 件

（2）静岡県企業脱炭素化推進フォーラムの運営

脱炭素化に向けた产学研官金の連携体制で脱炭素化に関する各種情報を共有する会員組織「静岡県企業脱炭素化推進フォーラム」を運営した。

- ・主要事業 県オンライン交流サイトに、会員限定のトーカルームを設けたりマガジン投稿を行い、国の政策動向や会員のサービスや商品に関する情報を共有した。
- ・会員数 970 人

○静岡県企業脱炭素化推進フォーラム

フォーラム会員同士の情報交換を行うことができるイベントを開催した。

①第1回フォーラム（R 5.7.11、ホテルグランヒルズ静岡）

- ・参加者 220 人
- ・講演 カーボンニュートラルによる各業種への影響とチャンス！選ばれる企業になるために
（株）フルハシ環境総合研究所 代表取締役所長 浅井豊司 氏
- ・トークセッション 脱炭素化を意識した企業課題の解決コスト削減に繋がる省エネ・再エネ
（株）藤枝農産加工所 代表取締役社長 牧野恭三 氏
- ・展示相談会プログラム 17 社・団体
東京海上日動火災保険（株）、東武トップツアーズ（株）、e-dash（株）、三井住友海上火災保険（株）、鈴与商事（株）、静岡ガス（株）、中部電力ミライズ（株）、アスエネ（株）、東京電力パワーグリッド（株）、東京電力エナジーパートナー（株）、（一社）環境資源協会、（一社）中東遠タスクフォースセンター、（株）フルハシ環境総合研究所、浜松イノベーションキューブ、静岡大学、（株）静岡銀行、（公財）静岡県産業振興財団
- ・補助金セミナー （一社）環境資源協会 事務局長 井上隆夫氏

②第2回フォーラム（R 6.3.14、ホテルグランヒルズ静岡）

- ・参加者 145 人
- ・講演 時代の潮流に乗ってチャンスをつかむ 中小企業の脱炭素経営のポイントと留意点
（株）みなかみ SOUL 代表取締役 前田雄大氏
- ・事例発表 常識を覆す循環型社会の実現に向けた紙のリサイクルにおける可能性
コアレックス信栄（株）取締役専務執行役員人事企画統括 佐野仁氏
- ・静岡県企業脱炭素化推進フォーラム会員からの情報提供 4 団体
中小企業基盤整備機構、（株）静岡銀行、鈴与商事（株）、アイデン（株）

(3) 普及啓発セミナー

・17回開催 延べ561人参加 (R5.5月～R6.2月)

・開催協力団体

市町 藤枝市、函南町、牧之原市、焼津市、磐田市

金融機関 三島信用金庫

商工団体 藤枝商工会議所、函南町商工会、牧之原市商工会、下田商工会議所、

南伊豆町商工会、焼津商工会議所、袋井商工会議所、浅羽町商工会、

富士商工会議所、静岡県商工会連合会、静岡県テント・シート工業組合、

(一社)静岡県紙パルプ技術協会、(公社)静岡県産業廃棄物協会、静岡缶詰協会

その他 静岡県経済同友会、協立グループ

(4) 専門人材の育成

○専門家の育成

・専門家向けセミナー

エネルギー管理士、電気主任技術者、技術士、中小企業診断士など、省エネ診断の専門家登録を目指す専門人材を対象に、2回シリーズのセミナーを開催した。

開催日	第1回 R5.8.28、第2回 R5.10.2 (計2回)
内容	第1回 省エネ診断事例等を参考に企業の「省エネ」箇所の洗い出し 第2回 脱炭素に資する省エネ取り組みの中長期的推進方法
受講者	技術士、エネルギー管理士、中小企業診断士等 19人 (募集定員10人)

・情報交換会

省エネ診断に向けた実務セミナー及び専門家間の連携を図るための情報交換会を開催した。

開催日	R6.2.9 (計1回)
内容	産業財団の個社支援強化の方向性について 産業財団での専門家登録へ向けた取組について
参加者	技術士、エネルギー管理士、中小企業診断士等 8人

○企業担当者向けセミナー

・企業内で脱炭素化を推進するリーダー人材の育成を目的に3回シリーズで開催した。

開催日	第1回 R5.7.31、第2回 R5.8.31、第3回 R5.10.16 (計3回)
内容	第1回 脱炭素社会は企業をどう変えるのか ～企業が脱炭素化を実現するための手法と効果～ 第2回 自社の「脱炭素」計画を作成する 第3回 脱炭素に資するエネルギー対策の実践方法とその効果
受講者	企業の代表者及び現場責任者等 36人

・テーマ別セミナー

開催日	DX R5.10.24、LCA R5.11.24 (計2回)
内容	DX DXでカーボンニュートラルを実現していくための基本のキ 今日から始めよう！中小・零細の事業者が脱炭素とDXを行う方法 LCA ライフサイクルアセスメント (LCA) セミナー ライフサイクルアセスメントの基本を学ぶ中でカーボンフットプリントも学ぼう
受講者	脱炭素化を検討している全ての事業者等 DX 54人、LCA 25人

・トライアル専門家派遣事業

産業財団の専門家派遣事業による省エネ診断など個別相談業務の充実を図るため、実施企業の掘り起こしに向けたトライアル専門家派遣を行った。

実施日	R5.11.6、R5.12.7、R6.1.30 (計3回)
内容	第1回 ヒアリング及び現場確認 第2回 省エネ可能箇所の提案 (経営層向け) 第3回 省エネセミナー (従業員向け)
場所	(株)池田製作所

(5) 県内企業の脱炭素化・省エネ調査

- ・県内企業の脱炭素化の取組に関する実態調査 10 社
- ・県内企業の先進事例集作成 静岡県内中小企業の脱炭素化ガイドブック (6 社)

9 高度化資金貸付診断等事業

事業費 18,063,773 円

中小企業者が工場団地や共同店舗等を建設する高度化事業に対して、県からの委託に基づいて経営診断や助言を行った。

(1) 高度化資金貸付制度の概要

- ・貸付期間 20 年以内 (うち据置期間 3 年以内)
- ・貸付利率 5 年度 0.60%
- ・貸付割合 貸付対象経費の 80% 以内
- ・貸付先 事業協同組合、街づくり会社 (三セク) 等

(2) 高度化診断業務の概要

○ 診断件数

区分	実績	内容
新規貸付診断	3	・新規貸付の際の事業計画の妥当性判断や助言を行うための診断
条件変更診断	3	・既往貸付金の償還猶予に伴う経営改善計画の妥当性判断や助言を行うための診断
フォローアップ診断	22	・貸付から 1 事業年度経過後の投資効果の確認のための診断 ・条件変更診断後の事後助言 (フォローアップ)
対象診断	1	・高度化事業への参加を希望する企業等に対する個別経営診断
計	29	

○ 成績定期調査件数

区分	実績	内容
財務分析	43	・高度化団地等へ進出している企業の財務分析

10 事業承継支援事業

事業費 138,941 円

(1) M&A 技術評価支援事業

静岡県事業承継・引継ぎ支援センターが行う M&A やマッチング支援を後押しするため、同センターに相談のあった売り希望企業の技術的価値を可視化し、マッチング候補先の選定に資するための技術評価を行った。

- ・派遣先 1 社
- ・派遣した技術士 1 人 (建設部門)

11 設備貸与事業

事業費 16,077,694 円

小規模企業者等 (原則として従業員 20 人以下) 及び創業者を対象に、設備を割賦販売及びリースする事業を行ってきたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸与を終了した。その後は、既貸与先のフォローと債権回収を行った。

(1) 正常債権

令和 3 年度に完済済み。

(2) 延納・滞納債権（未収額）

(単位：千円)

項目	R4 末残		R5 末残	
	件数	金額	件数	金額
割賦	2 件	16,465	1 件	14,349
リース	0 件	0	0 件	0
計	2 件	16,465	1 件	14,349

※割賦は設備相当額、リースはリース料を記載

(3) 損害賠償債権（契約解除案件）

(単位：千円)

項目	R4 末 不良債権残	R5 年度回収等				R5 末 不良債権残
		発生	回収完済	一部回収	償却	
件数	割賦	2 件	0 件	0 件	(1) 件	0 件
	リース	1 件	0 件	0 件	(0) 件	0 件
金額	計	3 件	0 件	0 件	(1) 件	0 件
	割賦	10,689	0	0	2,400	0
	リース	20,020	0	0	0	20,020
	計	30,709	0	0	2,400	0
						28,309

(4) 割賦未収金債権（契約解除案件）

令和 3 年度に完済済み。

12 中小企業振興貸与事業

事業費 0 円

上記の設備貸与事業の補完として、中規模中小企業者等を対象に事業を行ってきたが、平成 15 年度に新規貸与を終了した。正常債権回収は平成 21 年度に、不良債権回収は令和 4 年度に終了した。事業終了による処理を行った。

13 設備資金貸付事業

事業費 1,177,073 円

小規模企業者等（原則として従業員 20 人以下）等及び創業者を対象に、設備導入に係る資金を貸し付ける事業を行ってきたが、平成 26 年度末で小規模企業者等設備導入資金助成法が廃止され、新規の貸付を終了した。その後は、既貸付先のフォローと債権回収を行った。

正常債権（償還金）

(単位：千円)

項目	R4 末残		R5 末残	
	件数	金額	件数	金額
資金貸付	1 件	472	0 件	0

公3 科学技術研究開発支援

事業費 87,686千円 (70,226千円)

- 産学官連携や知財活用による新技術・新製品開発への支援
- 地域資源を活用した新商品やサービスの事業化、販路開拓の支援
- 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）の事業管理機関受託

県内企業等が行う新技術・新製品開発等への支援、企業の技術ニーズと大学等の研究シーズのマッチングや産学官交流促進等、県内産業の科学技術研究開発を支援する事業を行った。

1 産学官技術交流促進事業

事業費 28,685,090円

中小企業の技術的課題解決や事業化、企業ニーズと大学等の研究シーズの橋渡し、中小企業支援施策等の活用相談を行うため、技術コーディネーターを配置した。また、県内の各支援機関等を有機的に結びつける産学官連携体制の充実を図った。このほか、知的財産等の技術シーズの中小企業での利用促進や、海外展開を計画している中小企業等に対する外国出願を支援した。

(1) 技術コーディネーターの配置

研究開発支援、産学連携、知財に関するコーディネーターを配置し、助成対象事業の事業化に向けた支援、技術相談への対応、県試験研究機関や県内大学の技術シーズの橋渡しを行った。

- ・中小企業の技術課題等に対する相談対応 245件

(2) 静岡県知的財産活用研究会の運営

大学、研究機関、大手企業が保有する知的財産等の技術シーズの県内中小企業での利用促進を図る目的で「静岡県知的財産活用研究会」を運営し、情報提供、マッチング会を実施した。

- ・会員数 205社

○ 知的財産マッチング会

	マッチング会	開催日	内容
1	三菱電機㈱	R5. 8. 4	・シーズ提供 三菱電機㈱ ・個別相談 3社
2	㈱ディスコ	R5. 12. 8	・シーズ提供 ㈱ディスコ ・個別相談 4社
3	住友理工㈱	R6. 3. 7	・シーズ提供 住友理工㈱ ・個別相談 4社（うち継続案件1社）

(3) 知的財産を活用した大学との連携

大手企業等が保有する開放特許等の技術シーズを活用した県内大学生によるビジネスアイデア大会を金融機関と連携して開催するとともに、中小企業とのマッチングを行い、その事業化を後押しした。

- ・第8回知財活用アイデアプレゼン大会 (R5.11.8開催)

会場 静清信用金庫草薙支店 研修センター

最優秀賞 静岡文化芸術大学、優秀賞 静岡県立大学、審査員特別賞 静岡文化芸術大学

(4) 事業プロデューサーの配置

事業プロデューサーを配置し、今後の成長が期待できる製品等の知財戦略や事業計画についてアドバイスを行い、3件の事業化を支援した。

- ・㈱ダイヤ・プロフェッショナル・ジャパン（富士宮市）
桑抹茶の機能性表示食品「CAVA(クアヴァ)」の事業化
- ・㈱辻工務店（藤枝市）
大型バイク用ターンテーブル及びバイクガレージの事業化
- ・テクノエバーランス（藤枝市）
取付自在型車椅子用自動ブレーキユニット「クルンロック」の事業化

(5) 外国出願支援事業

特許、実用新案、意匠、商標及び冒認対策商標を外国特許庁へ出願する中小企業に対し、出願手数料、代理人費用、翻訳費等の出願にかかる経費の一部を助成した。 (単位：千円)

特許	助成額	商標	助成額
3件	4,300	0件	0

2 地域ビジネス応援事業

事業費 12,741,962円

地域の活性化を応援する目的で、県内の中小企業者、特定非営利活動法人が行う新たな事業の展開、新たな製品や役務の提供、新たな販路の開拓に積極的に取り組む事業を支援した。

(1) S D G s 貢献企業支援事業

中小企業者及び特定非営利活動法人が取り組むS D G s（持続可能な開発目標）達成に向け、地域資源を活用した新商品や新サービスなどの開発、販路開拓等に積極的に取り組み、県内の地域課題を解決するための事業に対して助成した。

・補助率 2/3 (限度額 2,000千円)

(単位：千円)

申請者	事業内容	補助事業の概要	助成額
(株)アイム (伊豆の国市)	ダイビングスクール運営	公立高校をターゲットとしたマリンスポーツ普及活動事業	1,562
(株)鈴木長十商店 (森町)	茶製造・小売	ことまち横丁の滞在環境を向上させる施設改修と集客力向上	2,000
(株)ティートリコ (牧之原市)	食品製造・小売	規格外果物等を活用したフルーツティの製造販売	1,800
丸徳商事(有) (静岡市)	産業廃棄物処理	アールなひりようと、はだけのものがたり～R FARM生姜ブランドの確立	2,000
(株)水野アルミ (島田市)	金属製サッシ・ドア製造	環境配慮社会に不可欠な『電気を使わない自動ドア』の普及と認知活動	1,957
合計			9,319

(2) 販売戦略構築支援型助成事業

産業財団が実施した販売戦略サポート委員会で受けた助言を具体化するため、中小企業が取り組む事業に助成金を交付した。

・補助率 2/3 (限度額 500千円)

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
(株)ディ・エッチ・エー・マリンフーズ	静岡市	「TUNAPLUS+」のリニューアルに伴う販路開拓	500
(株)プランツ	浜松市	てぶらで墓参りの事業拡大への取組み	476
ナイト一工業(株)	浜松市	ポータブルお風呂「てんぐの小風呂」販路拡大への取組み	500

(3) 静岡県女性経営者団体支援事業

県内企業の女性経営者・女性管理者が活躍できる企業を支援する静岡県女性経営者団体「A・NE・GO (Assist Next Go)」の活動を支援した。

3 成長型中小企業等研究開発支援事業

事業費 43,122,063 円

経済産業省「令和4年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）」の事業管理機関となり、TENTOK㈱と静岡大学との共同体が実施する研究開発を間接補助した。
(3年計画の2年目)

○研究テーマ

製紙技術を応用したミクロ微細化セルロース纖維によるガラス纖維強化樹脂代替材料の製造プロセスの研究開発

○2年目の実績

ミクロレベルに微細化したセルロース(MC)とポリプロピレン(PP)の複合ペレットについて、製造からペレットの熱流動特性およびダンベル試験片の基本的な強度特性評価までの社内一貫体制が確立できた。また、複合ペレットの原料となるMC/PP混抄紙について、原料処理最適化の追求により、生産性の大幅な向上が達成でき、コスト低減にも有利に働くものと期待できる。さらに、MC/PP複合ペレット製造について、原料となるMC/PP混抄紙の加工方法の製法特許を出願し、本取組の技術保護の対策を講じた。

その他、MC/PP複合ペレットの品質向上の取組として、二軸混練機メーカーでの試験段階において、静岡大学による樹脂配合の最適化と、二軸混練機の生産条件の最適化を組み合わせることにより、シャルピー衝撃値と曲げ弾性率において、GF10同等以上の品質を達成した。

公4 フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト

事業費 159,544千円 (155,779千円)

- 食品関連産業の振興
- 化粧品関連産業の振興
- ヘルスケア関連産業の振興

静岡県が策定したフーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト第1次戦略計画に基づき「超高齢社会を踏まえた健康寿命の延伸」と「経済の持続的発展を目指した新しいビジネスモデルの創出」を目指して、機能性表示食品や化粧品の開発、ヘルスケアサービスの開発促進等に取り組んだ。

1 食品産業振興事業

事業費 75,021,007円

科学的根拠に基づく高付加価値の製品開発、成果品等の販路開拓、関連情報・成果の情報発信等により食品産業の振興を図った。

(1) プロジェクト参画自治体との連携（静岡市、焼津市、藤枝市）

参画自治体や静岡県と連携して、商談会やセミナーを開催した。また、ホームページ及びメールマガジン等により関連情報や活動成果等を発信した。

○食品バイヤーとの商談会 ※1か月後調査の実績

開催日	場所	参加企業		マッチング	商談成立	サンプル送付	商談中
		バイヤー	申込事業				
R5. 8.24	焼津市	20社	31社	28社 119件	8件	14件	32件
R5. 10.27	静岡市	17社	36社	29社 96件	7件	17件	30件
R6. 1.24	藤枝市	15社	23社	19社 63件	7件	12件	23件

○セミナー、PR活動

- ・商談の基礎セミナー (R5.6.29) 参加者 20人
- 商談会・展示会のための基礎情報整理手法、FCPシート作成に向けたグループワーク
- ・フード！スマイルフェスティバル in ふじえだ (R5.10.29)
- 咀嚼トレーニングアプリおくちトレーナーによる咀嚼年齢測定 体験実施 90人
- ・クラスター産業分野支援貸付の確認作業
47件 73億3,626万円

(2) コーディネーター、アドバイザーによるビジネスマッチング

○相談対応

(単位：件)

商品開発	工程改善	販路促進	情報提供	機械性支援	助成金支援	その他	計
449	10	1,586	2,852	601	423	648	6,569

○サイエンスアドバイザー、販路開拓アドバイザーの活動

- ・県内食材の機能性素材成分を分析し、そのデータベース化を図った。
- GABA、イミダゾールジペプチド、ケルセチン、ビタミンD、カルシウム、リン 計70検体
- ・産官学民金、各種クラスターとの連携促進
AOI、MaOI、ChaOI、静岡市海洋産業クラスター協議会など関連プロジェクトへの支援（審査面での協力、企業支援、セミナーコ共催）
- ・成果品等販売支援 延べ86件、31社 64品目（水産加工品、菓子、調味料、飲料ほか）

(3) 展示会出展

(単位:千円)

展示会	開催場所	出展企業	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
メイカングループ総合食品展示商談会	アクトシティ浜松(R5.7.7)	3社	-	-	-
北洋銀行ものづくりサステナフェア2023	アクセスサッポロ(R5.7.20)	2社	2件	0件 (半年後調査)	0
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田(R5.11.10~11)	3社	1件	1件 (直後調査)	18
FOOD STYLE Kyushu	マリンメッセ福岡(R5.11.14~15)	5社	54件	2件 (直後調査)	20
国分中部株「2024年春夏商品展示会」	名古屋東急ホテル(R6.1.25)	2社	7件	0件 (直後調査)	0
スーパーマーケットトレードショー	幕張メッセ(R6.2.14~16)	20社	630件	4件 (直後調査)	220

<参考> 令和4年度開催分の実績(1年後調査)

展示会	開催場所	出展企業	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
産業振興フェア in いわた	アミューズ豊田(R4.11.11~12)	3社	2件	2件	700
スーパーマーケットトレードショー	幕張メッセ(R5.2.15~17)	21社	1,718件	121件	41,090

(4) フードテック活用による事業化支援

- ・フードテック ワークショップ (R5.5.26) 参加者 11社・団体
テーマ ローカルサプライチェーン構築と廃棄食材アップサイクル
- ・企業ヒアリング (R5.6~8月) 県内食品関連事業者へのヒアリング(26社)
- ・フードテック取組企業支援 4事業 5社

(5) 食の機能性に関するプラットフォーム構築

静岡県立大学と連携して、ヒト介入試験、システムティックレビューを支援した。

(単位:件、()内はH27年度から累計)

相談	ヒト介入試験	システムティックレビュー	機能性表示食品受理
300 (2,114)	2 (17)	5 (48)	13 (105)

(6) 高付加価値型食品等開発推進事業

○食品等開発助成事業

食品・化成品（食品素材を使用した場合のみ）において、機能性食品等の製品化に向けた試作品開発、機能性評価を行う事業に対して助成した。

(単位:千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
(有)丁子屋	静岡市	機能性表示食品を目指した冷凍すりおろし自然薯の開発	150
(株)white from green	富士市	機能性表示を目指した腸活プロテイン新商品の開発	1,890
フジ日本精糖(株)	静岡市	イヌリンを利用した化粧品の開発	250
(株)森島農園	浜松市	機能性成分GAGA含有量の多いモロヘイヤの商品化	283
富士山サーモン(株)	函南町	4つの機能性表示をもつサーモンの開発	272
合 計			2,845

○新事業創造研究会

オープンイノベーションの場を通じて、戦略計画に沿った各種テーマの商品開発に取り組む研究会の活動を支援した。

(単位：千円)

部会(開発テーマ)	参加企業	取組内容	助成額
浜松産米麹活用部会 (フードロス対策)	松田食品㈱ (有)加藤醤油	静岡県産未利用品食材を使用した甘味・風味を増す新素材の開発	423
海藻麹の特性解析と販路拡大部会 (発酵技術の活用)	アイウエシカル おいしい産業㈱	海藻麹の成分分析を行い、特性を明確にして販路拡大を目指す	273
サステナブルな仕組み・製品づくり検討部会 (フードテックの取組)	株はの字食品 (有)ベジタブル東海	廃棄予定食材を活用し商品作りを行うことにより、サステナブルな仕組み・商品作りにおける課題の抽出	500
健康おやつ研究部会 (機能性おやつ開発)	静岡県菓子工業組合 (株)雅心苑、(有)わかつき、 (有)きせ川 光来堂	健康に配慮したおいしいお菓子（ギルトフリーおやつ）の開発	462
合計			1,658

■過去3年間に助成した事業の実績（販売実績は、事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績
食品等開発助成事業	R2	6	3	135,668
	R3	6	12	40,526
	R4	4	3	4,379
新事業創造研究会	R2	8	7	57,755
	R3	5	5	1,709
	R4	4	7	267

2 食品産業人材育成事業

事業費 2,367,000円

地域企業の新製品・サービスの開発を促進するため、食品加工技術や機能性食品素材、食品の安全性に関する知識などを総合的に身につけた中核人材を育成した。

○総合食品学講座

項目	内容
期間	令和5年7月28日～10月26日、全13日間
実施場所	静岡県立大学、静岡県工業技術研究所、静岡県産経会館
講座内容	A : 食品の加工技術 (8講座) B : 食品の安心・安全技術 (6講座) C : マーケティング・販売戦略 (7講座) D : 実習 (5講座) E : グループ活動 (19時間)
受講者数	一括受講生 25人、個別受講生 55人 (個人終了認定者 25人)

■本講座総合評価（一括受講生対象 回収人数23人）

満足	ほぼ満足	やや不満	不満
14人 (61%)	9人 (39%)	0人 (0%)	0人 (0%)

3 化粧品産業振興事業

事業費 21,336,000 円

新製品開発の支援や企業からの各種相談対応、助成事業の有効活用、ビジネスマッチングに関するコーディネート等により、化粧品や付加価値の高い化成品等の事業化を図った。

(1) フォーラム・セミナー開催

○コスメティックフォーラム (R5.11.2、グランディエール ブケトーカイ)

- ・目的 専門家を招いて最新の化粧品産業の動向を紹介
- ・参加者 67人、展示8社
- ・内容 説明1 化粧品OEM・ODMの受注拡大支援の取組
講演1 化粧品業界の現状とリポソーム美容液の開発
講演2 コロナを経て、いまコスメ業界に起きていること

○化粧品スキルアップセミナー (R6.2.9、静岡市産学交流センター)

- ・目的 化粧品産業に携わる方の人材育成
- ・参加者 71人
- ・内容 講演1 防腐剤について
講演2 香粧品の安全性、有用性評価試験について
説明1 E P A (経済連携協定) の利活用方法について
説明2 化粧品事業者への指導事例

(2) 化粧品PR、展示会出展

○しづおかコスメマルシェ in ららぽーと沼津 (R5.8.26~27)

- ・一般消費者に対する静岡県産の化粧品PRと即売
- ・参加企業 4社、商品購入者 76人

○展示会出展 (化粧品、化粧品素材、機械メーカーの販路開拓) ※開催直後の実績 (単位:千円)

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
化粧品開発展 2024 (R6.1.17~19)	東京ビッグサイト	6社	86件	1件	150

<参考> 令和4年度開催分の実績 (1年後調査)

化粧品開発展 2023 (R5.1.11~13)	東京ビッグサイト	6社	133件	11件	819
-----------------------------	----------	----	------	-----	-----

(3) 化粧品OEM・ODMメーカーの受注支援

OEM・ODMメーカー情報冊子作成	・42社掲載、R5.7月改定(12社追加)
DIET & BEAUTY FAIR 出展	・R5.9.25~27、来場者16,212人 ・県内OEM・ODM企業の紹介、ビジネスマッチングを目的にセンターとして出展 ・名刺交換127人、OEM・ODM受託企業情報冊子配布87社
OEM・ODM受注拡大事業紹介	・コスメティックフォーラム(再掲)
インドネシア薬科大学とのビジネスマッチング	・R5.12.5、来訪者4人 ・県内企業2社と共同研究等に関するディスカッション実施
中国総合企業グループとの情報交換	・R6.2.22、来訪者2人 ・県内化粧品産業の説明、中国内の化粧品動向の情報交換

(4) 化粧品等研究開発推進事業助成

(単位:千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
ノブオ電子(株)	浜松市	化粧品業界を主な市場とする低価格で高性能な2次元測色計の試作	371
(株)メイルコーポレーション	伊東市	静岡県産茶の実オイルを使用した保湿性の高い美容オイルの開発	390
(株)エバースハウス	藤枝市	FUJISUI ローション&FUJISUI ミルク 全身スキンケア	106
(株)RAPHAS JAPAN	静岡市	チャ葉エキス/乳酸菌配合マイクロニードルパッチの機能性解明と商品化	2,899
合計			3,766

■過去3年間に助成した事業の実績 (販売実績は、事業終了翌年度からの累計額) (単位:件、千円)

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績	
		R2	3	6	18,416
化粧品等研究開発推進事業助成	R3	3	2	1,003	
	R4	1	0	0	

4 ヘルスケア産業振興事業

事業費 52,759,692円

ヘルスケアビジネスの事業化を支援して、心身の健康保持・増進、介護予防など健康寿命の延伸によるヘルスケアビジネスの創出につなげた。

(1) ヘルスケア産業事業化等支援事業

① プラットフォーム構築

産学官金のネットワーク構築と交流・ディスカッションを通じたオープンイノベーションを促進するフォーラム及びセミナーを開催した。

○ ウェルビーイング産業創出セミナー&交流会 (R5.11.29、グランディエール ブケトーカイ)

- ・目的 ヘルスケアビジネス事業化に向けた企業の取組を促進
- ・参加者 60人、展示7社
- ・内容 講演1 オープンイノベーションによる次世代 Well-being 産業創出
発表1 タニタ健康プログラムのご紹介
発表2 おせんべいでヘルスケアチャレンジ？！
～課題解決につながるせんべい作り～

討議 岡山大学大学院志水特任准教授、(株)タニタヘルスリンク、酒田米菓(株)

○ FHCaOI フォーラム「静岡が拓く食のイノベーション」(R6.3.7、グランディエール ブケトーカイ)

- ・目的 フードテックによる商品開発、社会課題解決及び令和5年度活動報告
- ・参加者 118人、展示7社
- ・内容 報告 令和5年度フーズセンター活動報告
講演 静岡県におけるフードテックの可能性
発表1 日本製紙グループが提供する木材資源を利用したフードテック
発表2 Cell Breaker AI System がもたらす新たなバイオマテリアルトランスフォーメーション事業～茶葉やトマトの葉からのタンパク質抽出による静岡を日本最大級の植物性タンパク質供給基地に～

(2) リビングラボの活用

リビングラボを設けて、企業の事業活動を支援した。

※リビングラボとは、Living (生活空間) と Lab (実験室) を組み合わせた言葉。商品開発の場を日常の生活空間の近くに置き、生活者視点に立った新しいサービスや商品を生み出す手法のこと。

企業名	所在地	内容
株エイディーディー	沼津市	クリニックにおける実証ほか2件
YK・コラボ(株)	浜松市	大学交流イベントでの消費者実証ほか9件
株モアソンジャパン	浜松市	地域イベントでのデータ収集ほか6件
ニュートラルポジションTC	静岡市	参画市健康関連イベントで消費者モニタリング調査ほか2件
インステイト(株)	沼津市	女性専用健康スタジオにおける実証ほか1件
バスリエ(株)	裾野市	サウナ施設での利用者アンケート
株共臨社	静岡市	展示会での消費者モニタリング調査ほか1件
株雅心苑	沼津市	機能性おやつに関する消費者による試食・意見聴取
(有)菓亭わかつき	富士市	機能性おやつに関する消費者による試食・意見聴取

(3) ヘルスケアビジネス事業計画作成支援

ヘルスケアビジネス実践講座＆ワークショップ(R5.6～10月) 参加企業 9社

- ・講師 (株)ヘルスケア・ビジネスナレッジ代表取締役社長 西根英一氏
- ・講座回数 5回、フォローアップ面談 各社 2回

(4) 販路の開拓

(単位：千円)

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
健康・未病産業展	東京ビッグサイト (R5.8.2～4)	3社	39件	0件 (半年後調査)	0
グルメ&ダイニングスタイルショー秋2023	東京ビッグサイト (R5.9.6～8)	6社	131件	21件 (半年後調査)	4,754
通販食品展示商談会	東京交通会館 (R5.10.24～25)	12社	161件	19件 (半年後調査)	1,728
しづおか・かながわ 広域商談会	プラサヴェルデ (R6.2.20)	63社	228件	21件 (直後調査)	381

<参考>令和4年度開催分の実績（1年後調査）

展示会	開催場所	出展者数	商談実績		
			商談件数	成約件数	当初契約額
ウェルネスフードEXPO	東京ビッグサイト (R4.7.27～29)	7社	91件	10件	2,126
通販食品展示商談会	東京交通会館 (R4.11.1～2)	10社	174件	36件	2,676
健康博覧会	東京ビッグサイト (R5.2.8～10)	3社	28件	5件	10,160
通販食品展示商談会 (大阪)	東京交通会館 (R5.2.21～22)	3社	30件	11件	1,656

○首都圏でのテストマーケティング

概要	業者に委託して県内食品を東京駅構内の店舗でテスト販売し、テストマーケティングを実施（商品のプラッシュアップ）。 また、首都圏バイヤーを県内に招聘し、製造現場での商談も実施
店舗	ニッコリーナエキュート東京店（東京駅構内）
期間	R5年7月～R6年2月
参加社数	新規20社26品、継続3社3品
売上実績	908点、394,022円（昨年度 981点、467,502円）

○プロジェクト関連商品の販売促進

概要	機能性表示食品などプロジェクト成果品の販売促進のため、県内ドッグストアでテスト販売を実施
店舗	杏林堂薬局（浜松志都呂店、静岡小鹿店、富士厚原店）
期間	R6年3月1日～3月14日
参加社数	5社8品
売上実績	119点、34,777円

(5)ヘルスケア産業振興助成事業

加工食品の海外向け商品開発や海外販路開拓・拡大及び新たなヘルスケアサービスや製品の事業化のために行う可能性調査又は実証に対して助成した。

○加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
株マルハン	藤枝市	サロン開催によるフランス市場への進出・販路開拓	258
藤和乾物㈱	藤枝市	乾椎茸粉末の海外販路開拓	998
合計			1,256

○ヘルスケアビジネス事業化促進助成金

(単位：千円)

申請者	所在地	事業概要	助成額
㈱食の学び舎くるみ	藤枝市	食生活改善の習慣化を目的とした「教育用スマートミール」を使った栄養支援サービスの構築	2,000
インスティート㈱	沼津市	新ヘルスケアサービス「クライオストレッチ」	2,000
㈱エイディーディー	沼津市	クライオバスを利用したヘルスケアビジネスの事業化	4,794
㈱共臨社	静岡市	リハビリテーション新製品「すいすいストレッチ」の事業化実証	462
㈱モアソンジャパン	浜松市	スマート端末による咀嚼機能計測アプリのヘルスケアビジネスの事業可能性調査	1,429
バスリエ㈱	裾野市	サウナ・温泉資源を活用し、「入浴」を通じてビジネス活用するサービスを事業化させる可能性調査	914
合計			11,599

■過去3年間に助成した事業の実績（販売実績は、事業終了翌年度からの累計額）（単位：件、千円）

区分	年度	助成件数	商品化件数	販売実績
加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金	R2	2	7	4,522
	R3	2	6	807
	R4	2	3	464
ヘルスケアビジネス事業化促進助成金	R2	—	—	—
	R3	—	—	—
	R4	8	6	119,225

○ その他の事項

静岡県信用保証協会との連携

産業財団は、平成 30 年 8 月 1 日、県信用保証協会との間で「中小企業への相互連携による伴走支援に関する覚書」を締結し、相互に協力して中小企業に対して伴走支援を実施することとした。

(令和 5 年度の活動内容)

- ・中小企業支援連絡会議（令和 5 年 5 月 17 日）を開催し、連携推進に関する協議及び情報交換を行った。（オブザーバー 静岡県）
- ・産業財団に資金相談があった創業（予定）者に対し、有利な融資制度「開業パワーアップ支援資金（開業パワーアップ S）」を紹介した。
- ・信用保証協会の支援先 1 社に対して、取引・販路開拓支援を行った。
- ・「しづおか・かながわ広域商談会」の協力機関として受注企業の募集や当日の運営について協力して実施した。